

| | |
|----------|------------|
| 自治体・協議会名 | 富士市公共交通協議会 |
| 評価対象事業 | 地域内フィーダー系統 |

二次評価結果

評価できる取組

- ・富士市地域公共交通計画において、「公共交通(=動く公共施設)」など印象的な表現を用いていることを評価します。
- ・コミュニティ交通の導入や運行について、地区との「協働」を重視して取り組まれ、地区の足として浸透が図られていることを評価します。
- ・輸送量が低迷していた地域間幹線系統「新富士線」について、観光部局と協働でPR活動を行うなど利用促進に努められ、R5年度の輸送量が大幅に回復した点を評価します。
- ・令和5年7月に「ふじMaas推進協議会」を設立し、幅広い参画者の下、地域の課題解決に向けて取り組まれていることを確認しました。

期待する取組

- ・ICTや自動運転などについては、技術等に関することに加え、その技術等によって何を実現したいか、何を目指すのかについても検討を深められることを期待します。
- ・計画自体は模範的ですので、具体的な利用者像を想定し、その方の利用をイメージしながら利用促進などにつなげていかれることを期待します。
- ・市内を運行する地域間幹線系統については、引き続き、県・市町・事業者間で認識の共有を行うとともに、必要に応じ、関係者間で連携して利用促進や対策等に取り組まれるようお願いいたします。
- ・「地域公共交通利便増進実施計画」について、引き続き、関係者との協議を重ね、取り組まれることを期待します。